

パート春闘 おしゃべり学習会



2月15日、大阪労連パート・非常勤連絡会は「非正規と女性の力でバージョンアップ! 労働組合をかえるのは私たち」をテーマに勤労協の中田先生を講師に学習。グループ交流会では「職場での対話や声をあげることが大事」「リアルで集まることはいい」などの声が寄せられました。

日本政府は停戦のイニシアチブを!



2月16日、大阪労連や大阪革新懇他2団体が「ガザ地区への無差別攻撃ストップ! パレスチナに平和を! 日本政府は停戦のイニシアチブを!」のローンを掲げスタンディング宣伝行動にとりくみ、「ガザへのジェノサイドやめるよう声を上げよう」と訴えました。

民主法律協会 「2024年 権利討論集会」



2月17日、民法協は権利討論集会を開催。全体会では「新時代の労働運動とは～たたかう労働組合が本流となることを目指して～」のテーマで全労連黒澤事務局長から講演があり、参加者から「核心を突いた問題提起、闘いの輪を広げがんばる」との感想が寄せられました。

大阪万博ストップ! 被災地支援、くらし応援へ



大阪府議会2月定例会開会日の2月21日、府民要求連絡会は、大阪・関西万博を中止し、人も予算も能登地震の被災地支援、府民の暮らし応援に使うよう求め、開会日行動にとりくみました。引き続き、府民のくらし優先の府政をめざしましょう。

ろーれんフラッシュユ



大阪労連と大阪自治労連は3月20日に、大阪府庁で「雇用不安と官製ワーキングプアをなくそう!」のアンケートでは「調査を開始した2006年から正規職

員が64%まで減少。非正規労働者が4割を超える自治体は22市9町1村、5割を超える自治体は7市6町となっている。賃金や休暇など均等待遇とほど遠い現状である」ことを明らかにし、「近年多発する自然災害への対応をはじめ、住民のいのちと暮らしを守る公務公共サービスを充実させていくためには、正規職員での人員増が必要」と訴えました。

大阪労連では引き続き、会計年度任用職員で働く自治労連の曾我さんが「資格や高い専門性があるって低賃金になっている。正規職員との格差改善を」と力強く述べました。大阪労連では引き続き、会計年度任用職員を含めた公務員労働者の生活改善をはかる大幅賃上げで、社会全体の底上げをめざします。

「物価高騰で生活が苦しくなってきた。インボイス制度の導入でさらに負担が大きくなっている」「万博建設より、もっと他のどこにお金を使うべき」「万博のパビリオン建設は間に合わないと思う、万博は中止すべき」「経済が回っていないから、賃上げは必要」「賃上げした企業に補助を出す自治体があるの、大阪でも実現したい」などの意見が出されました。

国労大阪会館を 研修・学習会などにご利用ください JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ ◆身障者用昇降機設置 お申し込みは ☎06(6354)0661 〒530-0034 大阪市北区錦町 2-2

非正規労働者の雇用不安と官製ワーキングプアをなくそう!



大阪労連と大阪自治労連は3月20日に、大阪府庁で「雇用不安と官製ワーキングプアをなくそう!」のアンケートを開始した2006年から正規職員が64%まで減少。非正規労働者が4割を超える自治体は22市9町1村、5割を超える自治体は7市6町となっている。賃金や休暇など均等待遇とほど遠い現状である」ことを明らかにし、「近年多発する自然災害への対応をはじめ、住民のいのちと暮らしを守る公務公共サービスを充実させていくためには、正規職員での人員増が必要」と訴えました。

大阪労連では3月1日、5月31日まで春の組織強化拡大集中期間」と位置づけ、3,000人拡大をめざしています。3月1日には「春のなかまづくりスタート宣伝」を実施しました。春闘では、「生活改善できる賃金引き上げ、人員増や職場改善」などを職場で呼びかけ、「組合に入らなければ実現しよう」と対話を軸に組織拡大につなげよう。

2024年春闘勝利!! 対話を軸になかまづくり

2月21日、大阪春闘共同委員会と大阪労連は2024年春闘学習決起集会を国労大阪会館で開催しました。主催者挨拶で菅議長(大阪春闘共同代表委員)は「ストライキを背景に強い交渉力を持つて、物価高をこえる賃上げを実現することが日本経済や大阪経済の発展につながる。たたかっ

地域循環型の経済・社会をつくろう! 地域活性化めざす対話行動



保育運動連絡会・学童保育連絡協議会との懇談



北河内地区協議会春闘学習決起集会



堺労連商店街訪問

賃上げで地域経済の活性化・景気回復を



大阪市交渉

2月1日に対市交渉がとりくまれ、豊かなまちづくり計画などを要請しましたが、市当局は「国に要請しています」と繰り返すだけで、大阪市独自の政策はなく、参加者からは「何とかする」という気概がない」との意見が出されました。堺労連では2月15日に商店街訪問を実施。物価高騰については8割以上が「困っている」との回答で、やってほしい政策

物価高をこえる賃上げを!

2024年春闘学習決起集会

た。布施さんは「アメリカでは、労使協定の労働組合からたたかう執行部になる中で、対話を広げストライキを実施し、賃上げや処遇改善を勝ち取っている。職場での怒りや希望と展望など対話を重視し、行動する春闘にしよう」と強調しました。最後に民間部会の海老原副部会長の閉会挨拶と団結ガンバロウで決意を固めました。

2月は「地域総行動」として位置づけ各地域で、自治体との交渉や議会での意見書採択運動、商店街訪問、宣伝や集会などがとりくまれました。大阪府地区協議会では2月1日に対市交渉がとりくまれ、豊かなまちづくり計画などを要請しましたが、市当局は「国に要請しています」と繰り返すだけで、大阪市独自の政策はなく、参加者からは「何とかする」という気概がない」との意見が出されました。